



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役会長 兼 CEO (氏名)中井戸 信英  
 問合せ先責任者 (役職名)経理グループ長 兼 主計部長 (氏名)岡 恭彦 (TEL)03(5166)2500  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	64,516	2.1	3,488	1.2	3,750	△4.0	3,102	△13.0
25年3月期第1四半期	63,185	124.9	3,448	—	3,905	48.1	3,567	134.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,275百万円(△3.2%) 25年3月期第1四半期 3,385百万円(398.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第1四半期	円 銭 29 92	円 銭 28 81
25年3月期第1四半期	34 41	33 50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	319,066	109,633	32.7	1,005 20
25年3月期	322,828	108,208	31.8	991 48

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 104,264百万円 25年3月期 102,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18 00	—	18 00	36 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20 00	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	136,000	1.2	9,500	2.2	9,800	△4.6	8,600	△6.1	82 95
通期	290,000	4.1	23,500	13.0	23,500	5.7	17,500	4.6	168 78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	107,986,403株	25年3月期	107,986,403株
26年3月期1Q	4,261,615株	25年3月期	4,303,745株
26年3月期1Q	103,712,305株	25年3月期1Q	103,663,741株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成25年7月31日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・中央銀行の各種財政・金融政策の発動を受け、年初来、株式市場が活況を呈するとともに、企業の景況感も回復傾向に転じております。個人消費は底堅く推移し、設備投資につきましても、円高修正を背景に企業業績が改善するなか、投資に前向きな企業が徐々に増加してきております。また、足元の状況では、中国等新興国経済の減速及び米国の量的金融緩和政策の見直し等懸念材料はあるものの、内需の底堅い推移と輸出の持ち直しを背景に、日本経済は緩やかな回復傾向を示しております。

このような経済情勢の下、当社グループを取り巻く事業環境は、近年抑制・先送りが続いてきた顧客企業のIT投資に回復傾向が見られ、全般的に堅調に推移しました。

製造業においては生産・販売活動の強化やグローバル化対応等、顧客企業の戦略的なIT投資需要が顕在化してきております。電機業界等の一部顧客に依然として慎重姿勢が見られるものの、今後、円高修正の定着や業績の回復とともに、製造業顧客のIT投資が本格化することが期待されます。金融業においては、銀行・保険業を中心に経営統合を巡る大型のIT投資が引き続き堅調に推移するとともに、通信業においても、スマートフォン需要の高まりを背景に、IT投資は拡大基調を維持しております。

加えて、一層の業務効率化・生産性向上を目的とする各種クラウド型ITサービスの需要は拡大しており、また、BCP(事業継続計画)・ディザスタリカバリー(災害復旧)対策への取組み意欲の高まりもあり、データセンターサービスへの顧客需要は拡大基調を続けております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、金融業等向けのシステム開発及び製造業等向けの保守・運用サービスが堅調に推移し、前年同期比2.1%増の64,516百万円となりました。営業利益は、増収に伴い前年同期比1.2%増の3,488百万円となりました。経常利益は、前年同期の業績に一過性の投資事業組合運用益が含まれていたことに伴う反動減があり、前年同期比4.0%減の3,750百万円、四半期純利益は、期初より見込んでおりました事業ポートフォリオ見直しに係る一時的な費用の計上等があり、繰延税金資産の計上に伴う税金費用の減少はあったものの、前年同期比13.0%減の3,102百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,746百万円減少し、81,501百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は4,061百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3,365百万円、減価償却費1,692百万円、売上債権の減少による資金の増加11,330百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少4,487百万円、たな卸資産の増加による資金の減少3,047百万円、法人税等の支払額739百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,098百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得735百万円、無形固定資産の取得402百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は4,800百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による資金の減少2,500百万円、平成25年3月期期末配当金(1株当たり18円)の支払1,870百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は概ね予想の範囲内であり、平成25年4月26日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## ※当社グループの四半期業績の特性について

わが国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。このため、請負契約を除く売上高計上基準として、主として「検収基準」を採用している当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2・4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,669	19,481
受取手形及び売掛金	61,661	50,361
有価証券	1,298	1,228
営業投資有価証券	37,326	42,656
商品及び製品	2,793	4,111
仕掛品	646	2,369
原材料及び貯蔵品	21	31
短期貸付金	106	106
預け金	64,478	63,019
その他	20,718	23,583
貸倒引当金	△101	△28
流動資産合計	208,620	206,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,684	26,316
土地	22,118	22,135
その他（純額）	7,420	7,473
有形固定資産合計	56,223	55,925
無形固定資産		
のれん	343	316
その他	7,346	7,164
無形固定資産合計	7,690	7,480
投資その他の資産		
投資有価証券	11,428	11,303
その他	39,163	37,733
貸倒引当金	△298	△296
投資その他の資産合計	50,294	48,740
固定資産合計	114,208	112,146
資産合計	322,828	319,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,568	13,091
1年内償還予定の新株予約権付社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	9,860	7,360
未払法人税等	777	280
賞与引当金	7,546	3,572
役員賞与引当金	110	17
工事損失引当金	12	452
カード預り金	64,414	65,290
その他	24,585	31,169
流動負債合計	159,876	156,233
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,000	20,000
退職給付引当金	7,697	7,114
役員退職慰労引当金	29	29
資産除去債務	1,391	1,396
その他	5,625	4,660
固定負債合計	54,743	53,200
負債合計	214,619	209,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,066	3,066
利益剰余金	86,735	87,967
自己株式	△8,654	△8,565
株主資本合計	102,300	103,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	947
繰延ヘッジ損益	8	44
為替換算調整勘定	△468	△348
その他の包括利益累計額合計	498	643
新株予約権	168	152
少数株主持分	5,241	5,215
純資産合計	108,208	109,633
負債純資産合計	322,828	319,066



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	63,185	64,516
売上原価	48,513	49,869
売上総利益	14,671	14,647
販売費及び一般管理費	11,223	11,158
営業利益	3,448	3,488
営業外収益		
受取利息	53	63
受取配当金	27	28
持分法による投資利益	69	63
投資事業組合運用益	354	26
カード退蔵益	302	267
その他	143	110
営業外収益合計	952	559
営業外費用		
支払利息	96	97
投資有価証券評価損	22	63
為替差損	2	30
退職給付費用	65	65
資金調達費用	218	—
その他	91	40
営業外費用合計	495	297
経常利益	3,905	3,750
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	0
会員権売却益	0	—
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産除却損	3	6
固定資産売却損	—	1
事業撤退損失	—	378
特別損失合計	3	386
税金等調整前四半期純利益	3,907	3,365
法人税、住民税及び事業税	148	177
法人税等調整額	170	57
法人税等合計	319	235
少数株主損益調整前四半期純利益	3,588	3,129
少数株主利益	21	27
四半期純利益	3,567	3,102

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,588	3,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	△12
繰延ヘッジ損益	△12	35
為替換算調整勘定	57	117
持分法適用会社に対する持分相当額	2	6
その他の包括利益合計	△203	146
四半期包括利益	3,385	3,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,363	3,246
少数株主に係る四半期包括利益	22	28

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,907	3,365
減価償却費	1,583	1,692
のれん償却額	27	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△75
退職給付引当金の増減額(△は減少)	253	△576
前払年金費用の増減額(△は増加)	△170	641
固定資産除却損	3	6
固定資産売却損益(△は益)	△5	0
投資有価証券評価損益(△は益)	22	63
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△0
持分法による投資損益(△は益)	△69	△63
株式報酬費用	1	—
受取利息及び受取配当金	△81	△91
支払利息及び社債利息	96	97
投資事業組合運用損益(△は益)	△354	△26
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,189	△5,417
売上債権の増減額(△は増加)	11,905	11,330
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,619	△3,047
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,153	△4,487
カード預り金の増減額(△は減少)	763	876
役員賞与の支払額	△65	△126
その他	△4,523	460
小計	6,283	4,648
利息及び配当金の受取額	200	234
利息の支払額	△61	△81
法人税等の支払額	△872	△739
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,551	4,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,199	△899
有価証券の売却及び償還による収入	1,200	900
有形固定資産の取得による支出	△4,148	△735
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△580	△402
投資有価証券の取得による支出	△2	△103
投資有価証券の売却及び償還による収入	91	83
短期貸付金の回収による収入	1,351	3
投資事業組合出資金の払戻による収入	438	149
敷金及び保証金の差入による支出	△47	△5
敷金及び保証金の回収による収入	19	40
資産除去債務の履行による支出	—	△14
その他	121	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,755	△1,098

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,500	△2,500
社債の発行による収入	10,000	—
リース債務の返済による支出	△436	△443
自己株式の取得による支出	△30,077	△5
自己株式の売却による収入	0	73
配当金の支払額	△1,662	△1,870
少数株主への配当金の支払額	△44	△54
その他	1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,720	△4,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	90
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,867	△1,746
現金及び現金同等物の期首残高	63,661	83,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,793	81,501

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業システム	金融システム	グローバル システム	ソリューション	ビジネス サービス	IT マネジメント	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,386	11,266	2,720	3,512	7,436	8,301	12,185	1,170
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	548	55	333	308	311	1,351	1,074	35
計	16,935	11,321	3,053	3,820	7,748	9,652	13,260	1,205
セグメント利益	662	736	429	352	191	471	264	530

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	204	63,185	—	63,185
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	577	4,596	△4,596	—
計	782	67,781	△4,596	63,185
セグメント利益	26	3,666	△217	3,448

(注) 1 セグメント利益の調整額△217百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業システム	金融システム	グローバルシステム	ソリューション	ビジネスサービス	ITマネジメント	プラットフォームソリューション	プリペイドカード
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	15,705	12,922	3,237	3,908	7,534	8,795	11,463	752
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	420	69	354	365	386	2,023	1,104	24
計	16,126	12,992	3,592	4,274	7,920	10,819	12,567	776
セグメント利益	665	901	539	441	238	645	135	76

	その他	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	195	64,516	—	64,516
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	647	5,396	△5,396	—
計	843	69,912	△5,396	64,516
セグメント利益	24	3,669	△180	3,488

- (注) 1 セグメント利益の調整額△180百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。  
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年10月1日付の(株)CSKとの合併以降、合併効果を迅速かつ最大限に発揮すべく、経営体制の融合・統合を実施してまいりました。さらに当第1四半期連結会計期間より経営体制の完全融合を目的に、事業本部を業種別・機能別へ再編したことにより、報告セグメントの区分方法を一部変更しております。また、この変更に伴い、「ソリューション・機能」から「ソリューション」へ報告セグメントの名称を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額を表示しております。